



燕市立吉田北小学校

# 学校だより

令和6年4月19日  
No.1

学校だよりは、地域の皆様にも回覧板でご覧いただいています。日々の教育活動の様子を、学校ホームページ (<https://www.schoolweb.ne.jp/tsubame/yoshidakita-e>)に掲載しています。

## 「ありがとう」と思いやりあふれる学校

校長 齊藤 カオル

元気いっぱいのかわいらしい1年生20名を迎え、全校児童186名で令和6年度がスタートしました。毎日、子どもたちが元気に登校してくれることを大変うれしく思うとともに、保護者の皆様や地域の皆様の温かい見守りに感謝申し上げます。

入学式準備を仲間と協力して一生懸命に行う6年生の姿や、翌日の登校から1年生の歩みに合わせながら歩く登校班の子どもたちの姿、登校直後の1年生教室で1年生の世話や読み聞かせをする6年生の姿を目にすることができました。その場が温かい雰囲気にも包まれていることを実感し、大変うれしい気持ちになりました。この温かさは、吉田北小学校に伝統として受け継がれているものではないかと思えます。これをこれからも大切にしていきながら、全教職員で一丸となり安全・安心な学校づくりに努めてまいります。

令和6年度も「考える子 思いやる子 やり抜く子」の教育目標の具現化に向けて、「地域とかわり、夢（目標）に向かってねばり強くチャレンジする子どもの育成」を目指していきます。このような子どもを育成するには、『ありがとう』と思いやりあふれる学校の創造が根底になくはないと考えます。生活環境に「ありがとう」と「思いやり」があることで、子どもも大人も安心してチャレンジすることができると考えます。校長着任時には教職員に、始業式には子どもたちに以下の話をしました。

### 1 互いに「ありがとう」を伝える。

「ありがとう」は、魔法の言葉。この言葉を言われて怒り出す人はいません。

### 2 「自分がされてうれしいことをしてやる」

#### 「自分が言われてうれしいことを言ってやる」

つるの恩返し・・・人間だって同じです。情けは人のためならず・・・回り回って自分に返ってきます。これをすることは、自分を成長させます。



子どもたちも教職員もこのことを胸に置きながら、様々な教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様からのご理解とご協力をいただき、同じ気持ちでともに子どもたちを育てただけでしたら幸いです。